医療法人南労会　紀和病院季刊誌

ウェルビー

ご自由に
お持ちください

縁

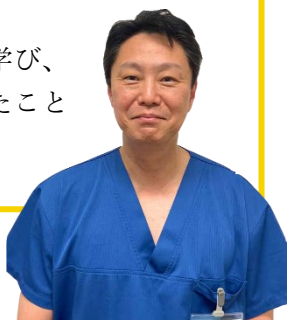
岡山県

第 61 号 2024 年度　冬

医療法人南労会 紀和病院
〒648-0085 和歌山県橋本市岸上 18-1　TEL.0736-33-5000
E-mail：info@nanroukai.or.jp　URL：http://www.nanroukai.or.jp

KIWA Doctor's Story No.10

2023 年 12 月より呼吸器内科医師として勤務させていただいております馬場 希一郎と申します。私は平成 18 年に滋賀医科大学を卒業後、大阪府内および京都府内の病院にて勤務し、肺癌を中心とした固形癌の診断・治療・研究に関与してきました。得意分野は腫瘍免疫、放射線療法といったやや特殊な分野なのですが、今後は一般的な呼吸器および内科疾患を中心に微力ではございますが皆様の健康維持に貢献できればと考えておりますので何卒よろしくお願いいたします。この度、ご縁があって紀和病院で勤務させていただくこととなりましたが、考えてみますと日本仏教界の 2 大スーパースターのお膝元である比叡山（最澄）近くの大学で学び、高野山（空海）近くの病院での勤務となったことに不思議なご縁を感じております。



長渕剛アリーナツアー2024 "BLOOD"

呼吸器内科

馬場 希一郎（ばば きいちろう）

滋賀医科大学卒業（平成 18 年卒）

【資格】

京都大学博士（医学）

日本内科学会総合内科専門医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

さて、ここからは縁について少しお話をさせていただきたいと思います。

最近、我が家に 2 匹の妖精が住み着くようになりました（笑）。タイニープードルの"アン"（2 歳・雌・白色）とティーカッププードルの"ごま"（1 歳・雌・黒色）です。2 匹とも好奇心旺盛で知能が高く、しかもグルメで驚かされることが多い日常です。飼い主には非常に従順で愛嬌たっぷりのいたずら大好きな妖精たち、朝は 5 時前には目を覚まし（充電完了状態）、要求される運動量も当初ブリーダーから聞いていたものよりも多く、軽く 1 時間は公園を走り回るので飼い主が疲れ果ててしまうのが日常です。しかし、2 匹の妖精たちとの生活は非常に楽しく人生を豊かにさせてもらっていることは間違いない事実であり、いつも感謝・感激しています。2 匹の妖精たちが我が家に来てくれたこと、まさに偶然であり、ご縁があったのだと感じています。

また、私の誕生日に"アン"が我が家にやってきたこと、"アン"の誕生日に"ごま"が我が家にやってきたことは確率論的にも驚くべき事象と考えております。
ブリーダーに指定された日時どおり何も考えずにプードルを迎えに行っただけなのですが、、、。
これこそまさに、ご縁であったのだと確信しています。
うまく表現できないのですが、縁とは我々が論理的に理解・感知できない何かしらの大きな力による＜めぐりあわせ＞なのではなかろうかと感じております。
最後になりますが、この縁という摩訶不思議な存在が今後も私の人生を豊かにする一つのスパイス的存在であることは間違いないと確信しております。

高野山の麓、紀和病院にて皆様と新たなご縁をいただけますよう日常診療や救急外来対応など可能な範囲で行って参りますので何卒よろしくお願いいたします。

新年のご挨拶

新年おめでとうございます。

昨年はコロナ感染が落ち着き、コロナバブルがはじけ、また診療報酬改定があり、本格的少子高齢化社会に向けた変化を見据えた大きな変化の年でした。どこの医療機関でも大変なダメージを受けましたが、南労会グループは地域包括医療病棟という新たな仕組みを利用することにより、ダメージを最小限に減らし、危機に立ち向かっています。

２０２５年は団塊世代がすべて後期高齢者となり、今後高齢者人口のピークが続く時代となります。入院患者に対する対策だけでなく在宅における医療看護介護をどのようにまとめ上げていくかが今後の課題になります。

それを患者さんの観点から見たときアドバンス・ケア・プランニング、すなわち今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセスが、注目を集めています。その目標は、重篤な疾患、慢性疾患において、患者さんの価値や目標、選好を実際に受け入れ医療看護介護に反映させることにあります。

本年は、患者さん視点から、紀和病院の各病棟、クリニック、特別養護老人ホームなどの介護療養施設を見直し、どう利用していくのが患者さんにとって最良なのかという提案にも深くかかわっていけるようにしていきたいと思います。

理事長　佐藤 雅司

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、昨年中、当院に賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。

さて、私たち紀和病院は「命の輝き」を大切にする医療・介護を理念として掲げております。患者さんの「命の輝き」を守るためには、職員一人ひとりがいきいきと、明るく元気に活躍できる環境が不可欠です。職員が幸福でなければ、患者さんに心からの笑顔で接することも、社会に対して真に必要とされる貢献を果たすこともできません。働く幸せを感じられる職員は、きっと患者さんや社会に幸せを届けることができると信じています。

昨年の4月に院長を拝命し、赴任当初から病院職員一人ひとりが心から満足して働くことができる職場にすることを目標として参りました。まだまだ十分には浸透しておりませんが、地道に幸福の好循環を生み出す職場づくりを推進し、職員が輝くことで、一人ひとりの患者さんの「命が輝く」お手伝いをさせていただきたく思います。この地域になくてはならない病院となるために、職員一人ひとりが自らの役割と責任を自覚し、努力を重ねてまいります。

本年も何卒、さらなるご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

病院長　池田 直也

新任医師のご紹介

形成外科　稲田 麻衣子（いなだ まいこ）

退職

形成外科　上村 和久

居宅介護支援事業所 きわ

介護相談センター「ディレクション」

0736（39）1588

相談することで問題解決に繋がる トータルサポート『総合窓口』開設

ケアマネジャーは「保健」「福祉」「医療」の分野で経験を積んできています。
実務経験によって得意分野が異なるため、どの分野のサポートを重要視するかで選び方も変わります。紀和病院グループのケアマネジャーはこんな分野を強みに活躍しています。

得意分野

- 環境コーディネート
- 自立支援
- リハビリ
- ターミナルケア
- 訪問介護
- 家族支援
- 介護保険法
- 社会資源の活用
- 認知症

「主任ケアマネジャー（主任介護支援専門員）」という、ケアマネジャーとしての経験が 5 年以上あり、研修を受けているケアマネジャーのエキスパートが 11 名

得意分野を生かしながらチームで情報を共有し、要望に合わせたサービスのご提案ができるよう努めております。

ケアマネジャー（介護支援専門員）は「介護が必要な人」と「介護保険サービス」をつなぐ専門職です！

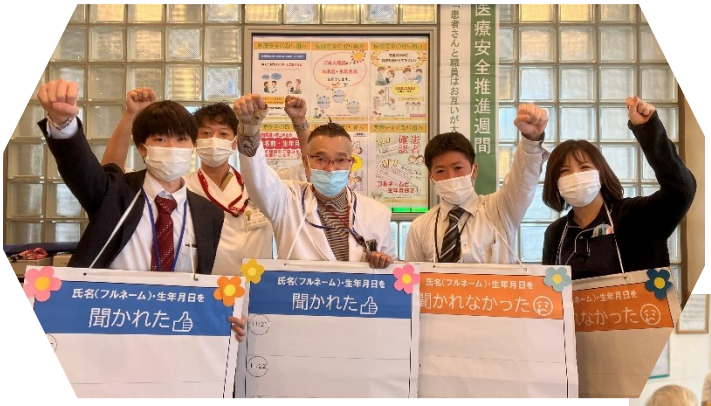
どんな時にケアマネジャーに相談していいの？

介護って、なにから始めるの？
歩行器はどれがいいの？
家族の面倒、疲れたな…
介護サービスの対応に疑問や不満がある
退院は出来そうだけど…
介護サービスの事業所を変えたい
家でリハビリって出来るの？
離れて暮らす両親が心配
物忘れが多くなってきて不安…
デイサービスを利用したい！
手すりつけるのにいくらかかるの？
市役所から届いた介護に関する書類がよく分からない

✦ケアマネジャーが対応でない場合には、適切な相談窓口を紹介します。
頼れる相談役という心の支えにしてください。

あなたのその悩み全部相談してください！！

医療安全推進週間
～患者さんと職員はお互いが大切なパートナー～



2024 年 11 月 21 日（木）～11 月 27 日（水）

患者さんも職員も「医療安全のこと、一緒に考えよう」をキャッチフレーズに、活動させていただきました。

今回、具体的な活動テーマとして「2つ以上の識別を活用して、患者誤認を防止しよう！」とし、外来患者さんを中心に聞き取りアンケート調査を実施することで、お互いに再考する良い機会となったと感じています。

今回の活動を通して、患者誤認防止は必須（最低限）の行動であると再認識し、改めて実践へと繋げていこうと考えています。

2024 年度
KIWA IV ナース（院内認定静脈注射ナース）

患者様により質の高い静脈注射技術を提供することを目的に、紀和病院看護部では 2022 年度から院内認定静脈注射ナースの育成を開始しています。研修では静脈注射の安全な実施に関する基礎知識と技術の習得を目的に専門職が講師を務めています。

2024 年度も 9 月 30 日に開講式を行い、11 名の看護師が受講しました。筆記・技術試験に合格した者には、修了証とともにバッチが付与されます。病院にお越し頂いた際は名札にもぜひ注目してください。

乳がんいのちプロジェクト
乳がん検診、受けていますか

毎年 10月はピンクリボン月間として、世界規模で乳がん検診の早期受診を呼びかけています

乳がんいのちプロジェクトは、がん教育を受講した 6 年生の児童一人ひとりが「がん検診啓発隊」となって、みんなで大切な命を守っていこうと想いをこめてキーホルダーを贈りました。

キーホルダーは反射素材を使用しており、車に自分の存在を示すことで事故防止にもつながります。

自分だけでなく、大切な家族の安心と安全のために、乳がん検診啓発と交通安全、『ダブルの効果』で啓発活動を実施しました！

紀和病院 医療チーム紹介 No.6

栄養サポートチーム（NST）

栄養サポートチーム（通称 NST）は全ての患者様を対象に、各々の疾患に合わせた適切な栄養管理ができるようサポートしています。チーム医療が重要視される昨今ですが日本における NST の歴史は古くその原型は 40 年以上前に存在していました。当院でも 2006 年 4 月から稼働しており、紀和病院で最も歴史あるチームのひとつです。食べなければ病気の治りが遅くなるように、栄養管理はすべての疾患治療の上で共通する基本的医療です。

医師、歯科医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士、検査技師、NST 担当事務の多職種で構成されており、それぞれの専門家の視点で患者様の状態を把握できるようにしています。また他チームとの合同カンファレンスを行ったり病院の全スタッフを対象にした勉強会を開いて、より精度の高い医療・看護の支援をしています。食べるという生きるための基本的な行為で病気を予防し、病気を早く治して退院する、その大切さをスタッフ一同心に留めて患者様をサポートしてまいります。